

CWPDIと韓国におけるジェンダー主流化

キム・キョンスク博士

(忠清南道女性政策開発院 院長)

1. CWPDIの概要

忠清南道女性政策開発院（CWPDI）は、1999年に忠清南道政府によって設立された組織である。当初よりCWPDIは、韓国でもトップクラスの質を持つ優れた機関となることを目指し、実践的かつ国家レベルの政策提言による地域全般への影響力拡大、女性のための効果的な人材開発・管理プログラムの提供、および受益者の納得性の高い様々な政策内容の開発に取り組んできた。

上記のような政策開発および教育プログラムを通じ、CWPDIは、忠清南道におけるジェンダーに配慮した行政の実践に加え、道民福祉の水準向上と範囲拡大についても実現していきたいと考えている。

忠清南道女性政策開発院（CWPDI）の主要構想は、「“男女平等の福祉社会、忠清南道”の構築」である。忠清南道の政策・教育シンクタンクとして、CWPDIは、ジェンダーに配慮した政策および教育プログラムの考案・開発に重点を置き、その採用を道政府に働きかけている。

CWPDIは4つのチームと4つの付属センターから成り、Women's Policy and HR-D Team（女性政策・人材開発チーム）、Social Welfare Team（社会福祉チーム）、Multiculturalism Studies Team（多文化研究チーム）、Administrative Team（管理チーム）、ならびに、Gender Impact Assessment Center（ジェンダー影響評価センター）、Chungnam Children's Humanity Education Center（忠南子ども人性学習院）、Chungnam Childcare Information Center（忠南保育情報センター）、Chungnam Volunteer Center（忠南ボランティアセンター）から構成されている。

2. 韓国におけるジェンダー主流化の取り組み

2.1 ジェンダー主流化活動の導入

- 1990年代半ば以降、韓国は、ジェンダー主流化を通じた男女平等の進展と女性のエンパワメントの向上に積極的に取り組んでいる。

例) 政策全般、予算制度、人材開発、女性の権利擁護、女性出稼ぎ労働者などの分野におけるジェンダーに配慮した政策の導入。韓国政府によるジェンダー影響評価システムの採用（2002年）。

2.2 ジェンダー主流化の優良事例（ジェンダー影響評価）

- ジェンダー影響評価を通じたトイレ改善プロジェクトの事例
- 女性に配慮した都市構築の事例：ソウル特別市、全羅南道イクサン市
- 地元の官民企業における柔軟な労働慣習の漸次導入

2.3 ジェンダー主流化に向けた今後の課題（ジェンダー影響評価）

- ジェンダー予算に対する政府の意識向上、ジェンダー予算の実施に適した制度の確立
- 「Local Finance Act（地方財政法）」改正による地方政府でのジェンダー予算の実施
- ジェンダー予算の形態改善
- 女性団体を含めた様々な市民団体によるモニタリングおよび参画の促進